

新発田市スポーツ推進計画 (中間評価報告書)

令和6年3月

新潟県新発田市

目 次

第1章 新発田市スポーツ推進計画の中間評価にあたって

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 中間評価の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 スポーツを取り巻く環境

- 1 社会情勢の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 国・新潟県の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 新発田市のスポーツの現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第3章 後期に向けたスポーツの推進

- 1 後期に向けた現状、課題、取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

資 料

- 資料1 スポーツに関する市民意識調査

第1章 新発田市スポーツ推進計画の中間評価にあたって

1 はじめに

令和元年度に策定した「新発田市スポーツ推進計画」に基づき、令和9年度までの8年間で推進期間とし、“スポーツを楽しみ、スポーツで育む元気なまち・しばた”を基本理念に取り組みを進めてきました。本計画の中間年度となる令和5年度に、中間評価を実施することとします。

なお、今回の中間評価を実施するにあたり、市民を調査対象者として無作為に抽出した「スポーツに関する市民意識調査」(別紙参照)を行ったが、回収率は 22.5%と低かったことから、この結果を市民の傾向として位置づけ、本計画の後期に取り組むべき方向性の参考といたしました。

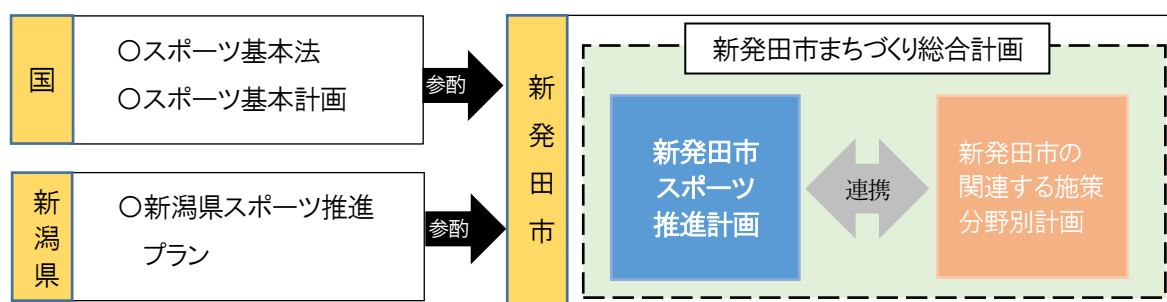
2 計画の位置づけ

平成 23 年 8 月に「スポーツ基本法」(平成 23 年法律第 78 号)が施行され、これに基づき、翌年 3 月に国が「スポーツ基本計画」を策定しました。

本計画はスポーツ基本法第 10 条第 1 項に基づき策定するもので、当市のまちづくりの基本的な方向を示す「新発田市まちづくり総合計画」などに関連する計画等との整合性に留意し、必要に応じて見直しを行うなど、適切に対応します。

また、「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」「新潟県スポーツ推進プラン」の内容を十分に参酌し、計画の策定及び推進を図ります。

【計画の関連図】



3 中間評価の趣旨

本計画の推進期間である令和2年度(2020)から令和9年度(2027)までの中間年度となる令和5年度に、市民アンケート調査結果やそれまでの取り組み状況を総括し、社会情勢の変化など、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、後期に取り組むべき方向を定めていきます。

第2章 スポーツを取り巻く環境

1 社会情勢の変化

スポーツ施策を推進するうえで、直面している課題やこの間の社会情勢の変化について、以下のとおり列挙します。

○人口減少問題・少子高齢化の加速	○持続可能な開発目標(SDGs)
○社会資本の老朽化	○情報通信技術(ICT)の進展
○ライフスタイルの多様化とまちづくり	○新型コロナウイルス感染症の影響
○ラグビーワールドカップ 2019 TM ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などの開催によるスポーツへの関心の高まり	

2 国・新潟県の動向

(1) 第3期スポーツ基本計画の策定（計画期間：R4～R8）

① スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」

スポーツをつくる／はぐくむ	社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。
スポーツであつまり、ともに、つながる	様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。
スポーツに誰もがアクセスできる	性別や年齢・障害・経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成

② 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出	⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり
② スポーツ界におけるDXの推進	⑧ スポーツを通じた共生社会の実現
③ 国際競争力の向上	⑨ 担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
④ スポーツの国際交流・協力	⑩ スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
⑤ スポーツによる健康増進	⑪ スポーツを実施するものの安全・安心の確保
⑥ スポーツの成長産業化	⑫ スポーツ・インテグリティの確保

国は、新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツが制限を受けたこと、東京オリンピックパラリンピック競技大会が一年延期して無観客で行われたことが、逆に「スポーツそのものが有する価値」「スポーツが社会活性化に寄与する価値」を再認識することとなったとしています。

(2) 新潟県スポーツ推進プランの策定（計画期間：H28～R6）～R4.3月一部改訂～

- ①【ビジョン】：「県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会」の実現
- ②【目標】：「スポーツ振興と地域活性化の好循環」の創出

③【主要施策】

■ 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくり
■ 競技力向上とスポーツへの親しみ度に応じた施策の推進
■ 年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進
■ 地域資源を活用した受入体制づくりと新潟県のスポーツの魅力発信

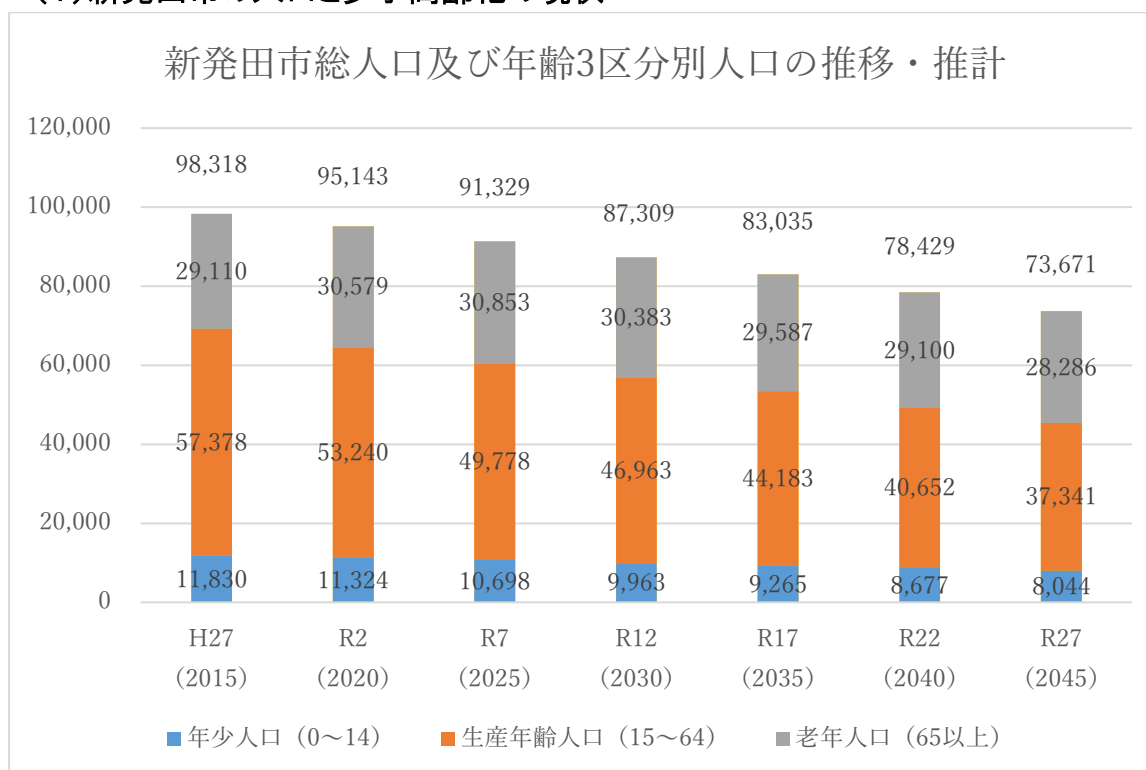
新潟県は、全国より早いペースで少子高齢化が進んでいることによる深刻な人口減少問題に直面しており、将来に向け、社会の活力や地域機能の維持が大きな課題となっています。こうした課題の解決には、県民誰もが健康で活力に満ち、住みたい・訪れたいと思える魅力にあふれた地域づくりに取り組む必要があり、この課題解決にスポーツの力を活用するとしています。

(3)その他の計画等

- 障害のある人のスポーツ活動を支援する～障害者のスポーツ活躍推進プランから～
- スポーツ団体ガバナンスコード(一般スポーツ団体向け)
- スポーツ実施率向上のための行動計画

3 新発田市のスポーツの現状

(1)新発田市の人口と少子高齢化の現状



新発田市の人口は、平成27年に10万人を割り、現在も減少が続いています。今後の人口に関しては、国立社会保障・人口問題研究所の推計値で令和27年に73,671人になると予想されています。

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口は総人口の減少に先行し、昭和30年頃から一貫して減少傾向にあり、生産年齢人口は平成7年頃をピークに減少へ転じています。老年人口は、現在も増加を続けていますが、令和7年以降は減少に転じると推計されています。

(2)新発田市におけるスポーツの現状

現行計画の中間評価にあたり、「新発田市スポーツ推進計画」から数値目標、「令和4年度全国体力・運動能力等調査」から、子どもの体力の現状把握、スポーツに関する市民意識調査結果を記載しています。概要は以下のとおりです。

①新発田市スポーツ推進計画における数値目標

項目	現状値(H30)	令和5年度	令和9年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率	61.7%	目標値 63.0% 実績値 56.8%	目標値 65.0%
体育施設の利用者数	638,663 人	目標値 690,000 人 R4 参考 511,644 人	目標値 690,000 人

令和5年6月に実施したスポーツに関する市民意識調査の結果から、「成人の週1回以上のスポーツ実施率」が56.8%となり、スポーツ推進計画における令和5年度の目標値63.0%を超えませんでした。

②令和4年度全国体力・運動能力等調査

(新発田市と県・全国との比較)

小学校5年生		種目別平均							
		握力	上体お越し	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
		Kg	回数	cm	回数	回数	秒	cm	m
男子	新発田市	17.02	19.35	35.71	42.12	50.64	9.56	152.18	19.11
	新潟県	16.93	19.56	35.05	43.15	51.91	9.54	153.51	21.07
	全国	16.22	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31
	R1 新発田市	16.60	21.22	34.42	43.43	55.40	9.33	155.10	21.03
女子	新発田市	16.51	18.20	39.52	41.18	43.74	9.56	145.03	12.98
	新潟県	16.56	18.59	39.43	41.92	43.95	9.65	148.21	13.96
	全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17
	R1 新発田市	16.70	19.55	39.49	42.22	47.35	9.58	146.48	14.01

中学校2年生		種目別平均							
		握力	上体お越し	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
		Kg	回数	cm	回数	回数	秒	cm	m
男子	新発田市	30.22	27.53	46.21	53.52	82.15	8.02	210.15	21.20
	新潟県	30.09	26.85	46.51	51.89	80.52	8.01	202.71	21.11
	全国	28.99	25.74	43.87	51.05	78.07	8.06	196.89	20.28
	R1 新発田市	29.51	28.96	48.18	52.55	85.98	7.91	200.89	22.14
女子	新発田市	23.21	22.47	49.89	46.24	52.52	9.05	169.80	12.50
	新潟県	23.65	22.67	48.65	46.21	53.97	8.95	169.10	12.62
	全国	23.21	21.67	46.07	45.81	51.60	8.96	167.04	12.45
	R1 新発田市	23.46	25.31	51.29	47.49	58.75	8.81	171.67	13.22

令和4年度運動能力等調査の結果から、本市の小学5年生と中学2年生の種目別の体力測定結果をみると、小学校中学校の児童生徒で、ほとんどの種目で全国平均を上回っています。しかし、中学生男子を除いて、ほとんどの種目で県平均を下回っています。

本市の令和元年度と令和4年度の比較では、小学生中学生とも、種目の半数以上が元年度の平均を下回り、特に中学生女子においては、すべての種目が元年度を下回っています。

③スポーツに関する市民意識調査

【調査の概要】

対 象	新発田市在住の満15歳以上の市民 1,750 人
調 査 方 法	郵便配布・郵送回収
調査実施時期	令和5年6月15日～令和5年7月3日
回 収 状 況	回収数:393 件 回収率: 22.5%

【調査結果】

資料 1 参照

④スポーツに関する市民意識調査 前回調査との比較

回答者の属性

(1)性別

前回同様、女性の回答率が高い。

(2)年齢

前回同様、50歳以上の回答が過半数を超えている。年齢が上がるほど関心が高い。

(3)職業等

前回同様、勤め人がおよそ半分を占めている。

(4)地区

小学校区ごとの人口比で調査しているため、本庁地区の回答が多くなる。

健康・運動不足への認識

(1)健康であると思うか

どちらかといえばを含むプラス回答の割合が若干減っている。

30歳代女性のプラス回答が特に低下している。

(2)体力に自信があると思うか

前回同様、30歳代未満以外は「自信がある」より「自信がない」の回答割合が高い。

(3)運動不足を感じているか

前回同様、30歳代未満以外は運動不足を感じている回答割合が高い。

(4)新型コロナウイルス流行前に比べて運動不足を感じているか(新規)

コロナ禍以前と比べ4割(5人中2人)の人が運動不足を感じている。

60～64歳、75歳以上では5割(半数)の人が運動不足を感じている。

運動・スポーツの好き嫌い

(1)運動・スポーツをすることは好きか

前回同様、どちらかといえばを含むプラス回答が6割を超えている。

(2)運動・スポーツを観ることは好きか

前回同様、どちらかといえばを含むプラス回答が前回7割、今回8割近くになっている。

スポーツの実施状況

(1)過去1年間にスポーツを行ったか

前回より「行った」割合が高くなっている。

年代別に、30歳未満が低下したのに対し、30・40歳代が特に前回より高くなっている。

(2)現在行っているものも含め、これからやってみたいと思うスポーツはあるか

前回より「ある」の割合が低くなっている。

前はどの年代も「ある」の割合が高かったが、今回は年齢が高いほど低下する傾向となった。

(3)過去1年間に行ったスポーツ(運動)はなにか

前回①ウォーキング

今回①ウォーキング

前回②体操

今回②体操

前回③軽い球技

今回③サイクリング、モータースポーツ

(4)これから行ってみたいと思うスポーツはなにか

前回①ウォーキング

今回①ウォーキング

前回②体操

今回②体操

前回③サイクリング、モータースポーツ

今回①軽い球技

(5)運動・スポーツを行った日数

「週に1日以上」スポーツを行った人の割合が前回より低下している。

(5-1)新型コロナウイルス感染症が流行する前後の運動・スポーツを行った日数の変化(新規)

流行前より「増えた」約1割、「減った」約2割、「変わらない」約6割。

(6)運動・スポーツの実施時間

前回同様、「1時間を超える」と「超えない」で4:6となる

(6-1)新型コロナウイルス感染症が流行する前後の運動・スポーツの実施時間の変化(新規)

流行前より「増えた」約1割、「減った」約2割、「変わらない」約7割。

(7)運動やスポーツを行った場所はどこか

前回①一般道・サイクリングロード等	今回①一般道・サイクリングロード等
前回②公共施設	今回②自宅
前回③自宅	今回③公共施設

(8)運動やスポーツを行っている理由

前回同様、①健康、体力づくり、②楽しみ、気晴らし、③運動不足を感じるから の順。
前回は、40歳以上で「健康づくり」が1位だったが、今回は30歳代でも1位となった。

(9)どのような点が変われば、運動やスポーツを行うようになるか(阻害要因)

前回①近所など通いやすい場所でできれば	今回①休暇が増えれば
前回②一緒に行く仲間がいれば	今回②近所など通いやすい場所でできれば
前回③利用料金や参加料金が安くなれば	今回③利用料金や参加料金が安くなれば

前回4位の「休暇が増えれば」が今回1位となった。
前回2位の「一緒に行く仲間がいれば」が今回4位となった。

(10)運動やスポーツを全くしなかった理由

前回①仕事が忙しい	今回①仕事が忙しい
前回②機会がなかった	今回②年を取ったから
前回③年を取ったから	今回③お金がかかるから

前回同様、「特に理由はない(面倒だから)」も上位にある。

(11)運動やスポーツが気軽にできる環境か

前回「思わない」が多かったが、今回「思う」が多く、逆の結果となった。

スポーツイベントについて

(1)過去1年間に市が主催等しているスポーツイベントに参加したことがあるか

前回同様、9割が市主催のスポーツイベントに参加したことがないという結果となっている。

(2)過去1年間に参加した市が主催しているスポーツイベント

1割参加のうち前回は複数のイベントに参加の傾向がみられたが、今回は見られなかった。

(3)これから参加してみたいと思う市が主催等しているスポーツイベントはあるか

前回同様、約8割が「ない」という回答。
前回同様、イベントの常態化も考えられる。

(4)参加してみたいと思う市が主催等している具体的なスポーツイベント

前回同様、市民総合スポーツ大会、城下町しばたスポーツフェスタ、ジョギング・ウォーキング関係のイベントが多い。

スポーツ施設について

(1)現在利用している、又は利用したことのある市のスポーツ施設

前回①カルチャーセンター	今回①カルチャーセンター
前回②利用したことがない	今回②サン・ビレッジしばた
前回③サン・ビレッジしばた	今回③利用したことがない

(2)もっと整備して欲しい市のスポーツ施設はあるか

前回同様、市民プール、カルチャーセンター、サイクリングロードに対する要望がある。
新設要望に、前回はドックラン、今回はスケートボードの要望があった。

障がい者スポーツについて

(1)障がい者スポーツに関心があるか

前回同様、約6割が関心がない、わからないと回答。

(2)障がい者スポーツについて、今後どのようなことをしてみたいか

前回①テレビやパソコンで試合を観戦する	今回①テレビやパソコンで試合を観戦する
前回②競技場や体育館などで観戦する	今回②競技を体験する
前回③競技を体験する	今回③競技場や体育館などで観戦する

(3)障がい者スポーツに関心がない理由

前回①身近に関わっている人がいない	今回①身近に関わっている人がいない
前回②どんな選手がいるか知らない	今回②特にない
前回③どんな競技があるか知らない	今回③どんな競技があるか知らない

スポーツボランティア活動について

(1)行ったことがある、又は今後行ってみたいスポーツボランティア活動はあるか

前回①特にない	今回①特にない
前回②大会・イベント等の設営、運営支援	今回②大会・イベント等の設営、運営支援
前回③地域での指導、補助	今回③地域団体の支援

観る・応援するスポーツについて

(1)新発田市に関係する選手や団体が活躍することに関心があるか

前回より関心がある割合が高くなっている。

(2)スポーツの視聴時間について、感染症が流行する前に比べて、増えたか(新規)

2割が「増えた」、約7割が「変わらない」と回答

年齢別に、15-19歳、75歳以上の約3割が「増えた」と回答。

スポーツ振興策について

(1)地域におけるスポーツ振興策に求められるものは何か

前回①高齢者の生きがいづくり	今回①高齢者の生きがいづくり
前回②スポーツ施設の有効活用	今回②スポーツ施設の有効活用
前回③地域コミュニティの形成	今回③子どもの体力づくり

前回同様、50歳を境に「子どもの体力づくり」と、「高齢者の生きがいづくり」の割合が変わる。

(2)スポーツ振興策として具体的に力を入れてほしいこと

前回①気軽に活動に親しめる環境整備	今回①気軽に活動に親しめる環境整備
前回②冬期間の環境の充実	今回②多様な種目、教室、イベントの充実
前回③多様な種目、教室、イベントの充実	今回③冬期間の環境の充実

(3)スポーツ行政全般に対する意見など(アンケート参照)

国・新潟県との比較

(1)健康であると思うか

国の数値が上がっているのに対し、市の数値が下がっている。

国 76.3%→81.0% 市 78.4%→74.5%

(2)体力に自信があると思うか

国・市の数値がともに上がっているが、市の数値の方が低い。

国 41.9%→45.6% 市 43.0%→44.3%

(3)運動不足を感じているか

国の数値が下がっているのに対し、市の数値が上がっている。

国 80.5%→76.2% 市 72.8%→73.0%

(4)スポーツをすることは好きか

県・市の数値がともに上がっている。

県 44.0%→62.3% 市 61.6%→63.0%

(5)この1年間のスポーツ実施状況(日数)

県の数値が上がっているのに対し、国・市の数値が下がっている。

国・県の数値より高い状況を維持している。

国 55.3%→52.4% 県 40.4%→56.6% 市 61.7%→56.8%

(6)今後行ってみたいスポーツはあるか

国・市の数値がともに下がっているが、市の下げ幅が大きい。

国 67.4%→65.4% 市 85.3%→63.0%

第3章 後期に向けたスポーツの推進

1 後期に向けた現状、課題、取組

(1) スポーツへの参加機会の充実 ～するスポーツ～

子どもから働き盛りの成人、高齢期の世代、障がいのある人など、誰もがスポーツを楽しめる機会の充実を図ります。

<現状>

- 子どもの頃から運動に親しむ機会をつくることで運動習慣の定着を図り、生涯スポーツにつなげるため、未就学児を対象としたスポーツ施設の活用や保育園等への巡回運動遊び指導を継続的に実施しています。
- 「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の向上に向けて、安心して参加できるイベント運営を行うなど、運動機会の提供を図っています。
- 新発田市教育委員会が設置する「新発田市地域部活動設置連絡協議会」に参画し、学校部活動(運動部活動)の円滑な地域移行に向けた検討を行っています。

<課題>

- スポーツ協会やスポーツ推進委員会、新発田市総合型地域スポーツクラブ(以下「とらい夢」という。)等のスポーツ関係団体と連携し、市民の多様なニーズに合わせた、参加しやすいスポーツ教室やスポーツイベントを展開し、継続的に市民の運動習慣定着を図る必要があります。
- 文化系学校部活動の地域移行に向けた進捗動向も注視しながら、運動部活動の円滑な地域移行に向け、教育委員会及びスポーツ関係団体等と十分に連携を図る必要があります。

<主な取組>

(i) 幼年期～少年期のスポーツ推進

子どもの頃からスポーツに触れて、身体を動かす楽しさや、仲間と目標を達成する経験を得ることは、生涯にわたってスポーツに親しみたいという意識の芽生えや、心豊かな人格の形成に寄与します。

子どもが遊び感覚で参加できるプログラムや、身体を動かすきっかけづくりとなる取組を推進するとともに、保護者や友人と一緒に活動できる機会の充実を図ります。

幼年期の体力づくり こども課

子育て支援センター職員を活用し、保育園等のスポーツ・運動遊び活動として、幼年期の体力づくりを支援します。

子ども向けスポーツ教室事業 スポーツ推進課、とらい夢、新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会

スポーツに対する苦手意識をなくし、身体を動かす楽しさを経験できる機会となるように、気軽に参加してもらえるスポーツ教室やイベントの充実を図ります。とらい夢や新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会が開催するかけっこ教室やボール投げ教室など、走る、投げる、跳ぶなどの基本的な身体の動かし方や技能を身に付けるための運動教室、親子で参加できる教室の運営を支援します。

新発田市スポーツ少年団交流事業 新発田市スポーツ少年団、新発田市スポーツ協会

他種目競技の団体との交流を通して、スポーツ活動への動機付けを目的に、新発田市スポーツ少年団や新発田市スポーツ協会が開催する種目別競技大会や体験教室等の活動を支援します。

ジュニアスポーツ活動の充実 スポーツ推進課、学校教育課、新発田市スポーツ協会、とらい夢

ジュニア期のスポーツ活動を推進するため、既存の種目別スポーツ団体の活動拡張を図るとともに、「新潟県部活動の在り方に係る方針」に基づき、学校運動部活動の地域移行を支援します。

ラジオ体操による健康運動事業 学校教育課、新発田市スポーツ推進委員会

ラジオ体操の普及啓発と、生涯を通して健康の維持増進を図るため、新発田市スポーツ推進委員会が児童を対象に開催する、ラジオ体操講習会を支援します。

城下町しばたスポーツフェスタ 新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会、スポーツ推進課

スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が実施する各種スポーツ・レクリエーション体験を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、家族同士、仲間同士誘い合いながら参加できるイベントの運営を支援します。

(ii) 青年期～壮年期のスポーツ推進

幅広い年代層である成人に対してスポーツに親しむ機会を提供するためには、各人の生活スタイルや置かれている環境の違いを踏まえ、個人の状況に応じた取組、生活習慣病など病気の予防を意識した身体活動・運動の実践への取組及び、働き世代を対象とした、企業の健康経営に取り組むことができるよう支援することが重要です。意識調査の結果では、20歳代のいわゆる働き盛り世代及び子育て世代のスポーツ実施率が低くなっています。

成人向けスポーツ教室 スポーツ推進課、健康推進課、とらい夢、新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会

身体を動かしてみたいくなるきっかけとなるような、気軽に参加することができるスポーツ教室の充実を図ります。参加してみたいと思ったタイミングを逃さぬよう、とらい夢や新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会が開催する市民の関心の高い競技種目や、普段、運動をしていない人でも参加できる教室の運営を支援します。また、健康のために体を動かすきっかけとなることや、運動したくてもできない人が、教室に参加することができるよう、開催場所(通いややすい場所)や開催日時などの環境も併せて検討します。

市ウォーキング事業 新発田市スポーツ推進委員会、健康推進課、地区公民館

健康づくり、スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ推進委員会等が開催する四季の自然や地域文化に触れ、楽しみながら身近で手軽に参加することができるウォーキング事業の運営を支援します。

城下町しばたスポーツフェスタ 新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会、スポーツ推進課

(再掲) スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が実施する、各種スポーツ・レクリエーション体験を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、家族同士、仲間同士誘い合いながら参加できるイベントの運営を支援します。

スポーツ施設を活用したトレーニング事業 とらい夢

サン・ビレッジしばたトレーニングルームを活用し、とらい夢が開催するトレーニング事業に同じ目標を持つ者同士が、交流を持てるよう、利用しやすい環境整備・運営を支援します。

市民総合スポーツ大会開催事業 スポーツ推進課、新発田市スポーツ協会

市民スポーツの関心と参加意識を高め、各種スポーツの普及・振興を促進し、健康増進と体力向上、活力に満ちた明るく豊かな市民生活の形成を図るため開催します。

健康経営に係る指導者派遣事業 商工振興課、健康推進課、スポーツ推進課、とらい夢

健康経営の理念の普及啓発とともに、職域が主体的に実施する「スポーツ教室等」において指導者を派遣し支援します。

新発田市トップアスリート等育成・強化事業補助金制度 スポーツ推進課

当市からオリンピック・パラリンピックへ出場できる選手の輩出を目指し、各競技団体から強化指定等を受けた選手等、国内上位に位置する選手の育成・強化のための活動を支援します。

(iii) 中・高年期のスポーツ推進

45歳以上の方は、身体を動かすことに対して抵抗を感じることもあるため、誰もが気軽に参加できる教室やイベントの開催とその周知を図り、多様な年代層が自身に合った取組を実践できる環境を整備します。

加齢に伴う筋力低下や外出機会の減少から、心身の活力が低下した状態を「フレイル」と呼び、近年、国はその対策事業を本格的に始めています。特に、老化により筋肉量が減少し、身体機能が低下した状態を指す「サルコペニア」の予防は、転倒予防や介護予防の観点からも重要視されています。また、社会的孤立に陥りやすい高齢者には、スポーツを通じて、生きがいづくりや仲間づくりが期待されます。

高齢者が心身ともに健康で、いきいきとした生活を送れるように、初心者でも参加しやすいスポーツ教室・イベントの実施に努めます。

介護予防教室 高齢福祉課、とらい夢

仲間と楽しく健康づくりを行い、運動習慣を身に付け、活動的な生活を継続できるよう体操教室等を開催します。

ときめき週1クラブの推進 高齢福祉課

公会堂・コミュニティセンター等で、住民が主体となって週1回以上「しばた・ときめき体操」を実施し、地域ぐるみでフレイル予防等に取り組むことを支援します。

高齢者の健康づくり事業 老人クラブ連合会

高齢者の仲間づくりや健康づくりのきっかけと活動成果の発表の場として、65歳以上を対象にゲートボール大会や自立体力全国検定を開催するほか、輪投げ大会やグランドゴルフ大会の開催を支援します。

日常的な集団スポーツ活動の推進 新発田市スポーツ協会

ゲートボールやグラウンドゴルフなどの環境整備や運営を支援します。

成人向けスポーツ教室 スポーツ推進課、健康推進課、とらい夢、新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会

(再掲) 身体を動かしてみたくなるきっかけとなるような、気軽に参加することができるスポーツ教室の充実を図ります。参加してみたいと思ったタイミングを逃さぬよう、とらい夢や新発田市スポーツ推進委員会、新発田市スポーツ協会が開催する市民の関心の高い競技種目や、普段、運動をしていない人でも参加できる教室の運営を支援します。また、健康のために体を動かすきっかけとなることや、運動したくてもできない人が、教室に参加することができるよう、開催場所(通いやすい場所)や開催日時などの環境も併せて検討します。

市ウォーキング事業 新発田市スポーツ推進委員会、健康推進課、地区公民館

(再掲) 健康づくり、スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ推進委員会等が開催する、四季の自然や地域文化に触れ楽しみながら、身近で手軽に参加することができるウォーキング事業の運営を支援します。

城下町しばたスポーツフェスタ 新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会、スポーツ推進課

(再掲) スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が実施する、各種スポーツ・レクリエーション体験を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、家族同士、仲間同士誘い合いながら参加できるイベントの運営を支援します。

スポーツ施設を活用したトレーニング事業 とらい夢

(再掲) サン・ビレッジしばたトレーニングルームを活用し、とらい夢が開催するトレーニング事業に同じ目標を持つ者同士が、交流を持てるよう、利用しやすい環境整備・運営を支援します。

市民総合スポーツ大会開催事業 スポーツ推進課、新発田市スポーツ協会

(再掲) 市民スポーツの関心と参加意識を高め、各種スポーツの普及・振興を促進し、健康増進と体力向上、活力に満ちた明るく豊かな市民生活の形成を図るために開催します。

健康経営に係る指導者派遣事業 商工振興課、健康推進課、スポーツ推進課、とらい夢

(再掲) 健康経営の理念の普及啓発とともに、職域が主体的に実施する「スポーツ教室等」において指導者を派遣し支援します。

(iv) パラスポーツの推進

東京2020パラリンピック競技大会の開催で高まったパラスポーツへの関心を一過性のものにせず、障がいのある人が、日頃からスポーツを楽しめる機会を増やしていくとともに、自主的にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備します。また、障がい者関連団体とも協力・連携してパラスポーツのより一層の推進に取り組めます。

パラスポーツ活動の充実 とらい夢、社会福祉協議会

障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめるスポーツ(ユニバーサルスポーツ)教室などのレクリエーション事業を支援し、障がいのある人へスポーツ参加の機会を提供します。

パラスポーツ体験による福祉教育の推進 スポーツ推進課、とらい夢、社会福祉協議会

小学校等へのパラスポーツ出前講座や、パラスポーツの体験を通じて、障がいに対する理解や地域福祉への関心を深め、心のバリアフリーを推進し、地域共生社会形成の一助を担います。

全国障害者スポーツ大会参加者激励金制度 社会福祉課

全国障害者スポーツ大会に出場する新発田市在住の選手に激励金を贈呈します。

パラスポーツ用具の整備と貸し出し スポーツ推進課、社会福祉協議会、とらい夢

障がいのある人のスポーツ活動を支援するとともに、パラスポーツのより一層の普及啓発につながるため、年次的にパラスポーツ用具の購入整備と貸し出しの充実を図ります。

パラスポーツ振興応援助成金制度 とらい夢、スポーツ推進課

市の支援のもとで、とらい夢が実施主体となり、パラスポーツの普及啓発及び競技力向上に係る活動を行う選手・団体に対して活動経費の助成を行います。

新発田市トップアスリート等育成・強化事業補助金制度 スポーツ推進課

(再掲) 当市からオリンピック・パラリンピックへ出場できる選手の輩出を目指し、各競技団体から強化指定等を受けた選手等、国内上位に位置する選手の育成・強化のための活動を支援します。

パラスポーツ競技大会の開催 とらい夢、スポーツ推進課、新発田市スポーツ推進委員会

障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる共生社会を目指し、健常者と障がい者が同じ環境で楽しみ、競い合うパラスポーツの競技大会を開催します。

障がい者のスポーツ施設使用料減免制度の創設 スポーツ推進課

障がいのある人が、気軽にスポーツ活動を行える受入れ環境を整備し、生活の質の向上と健康長寿につながるため、スポーツ施設利用時の使用料減免制度を創設します。

城下町しばたスポーツフェスタ 新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会、

スポーツ推進課

(再掲) スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が開催する各種スポーツ・レクリエーション体験を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、家族同士、仲間同士誘い合いながら参加できるイベントの運営を支援します。

(2)スポーツ活動を通じたまちづくり ～みるスポーツ～

トップアスリートとの交流など、スポーツツーリズムを通じてまちづくりの活力につながるスポーツへの関心を高めるための取組を行います。

<現 状>

- 地域のスポーツ振興と地域経済の活性化を図るため、産学官の有識者で構成する「新発田市スポーツ・カルチャーツーリズム推進事業実行委員会」を設立し、首都圏へのトップセールスの実施や、当市への経済波及効果及びシティプロモーションにつながる大規模イベント、高校・大学等の合宿の誘致を推進しています。

<課 題>

- スポーツに関わる大会・合宿は経常的に誘致できているものの、文化系(カルチャー)の催し・合宿等については十分に誘致できていないため、新規分野の開拓に向けて新しい切り口でのセールス手法を検討する必要があります。

<主な取組>

(i)地域特性を活かしたスポーツイベントによる地域活性化

スポーツは、人を元気づけるとともに、人と人とを結び付ける力を持っています。地域の特色を

活かしたスポーツイベントの開催等により、当市における魅力の発信やにぎわいの創出、コミュニティの形成などに向けた支援を行います。

マラソン・駅伝大会 スポーツ推進課、新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会

スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が開催する四季の自然や地域文化に触れ、楽しみながら参加することができるマラソン・駅伝大会事業の運営を支援します。

市ウォーキング事業 新発田市スポーツ推進委員会、健康推進課、地区公民館

(再掲)健康づくり、スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ推進委員会等が開催する、四季の自然や地域文化に触れ楽しみながら、身近で手軽に参加することができるウォーキング事業の運営を支援します。

城下町しばたスポーツフェスタ 新発田市スポーツ協会、新発田市スポーツ推進委員会、スポーツ推進課

(再掲)スポーツ活動の動機付けや継続を促すため、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ推進委員会が実施する各種スポーツ・レクリエーション体験を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、家族同士、仲間同士誘い合いながら参加できるイベントの運営を支援します。

(ii)ジュニアアスリートの発掘・育成及びトップアスリートの育成

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、各種スポーツ競技の日本代表選手の活躍により、トップアスリートに憧れを抱く子どもはますます多くなると考えられます。

そのため、トップアスリートを目指す子どもを応援するため、スポーツ団体、指導者、保護者、学校などと連携し、組織的な支援を行い、トップアスリートの育成に努めます。加えて、トップアスリートを目指したいというモチベーションをより一層高めるために、トップレベルの大会等を誘致し、トップアスリートのプレイを間近で観戦する機会や、トップアスリートと交流できる機会を創出し、ジュニアアスリートに夢と希望を与えます。

スポーツ全国大会等出場激励事業 スポーツ推進課、新発田市スポーツ協会

市内に在住(居住)・在学し、スポーツ全国大会及び国際大会に出場する団体及び個人に激励金を贈呈します。

新発田市トップアスリート等育成・強化事業補助金制度 スポーツ推進課

(再掲)当市からオリンピック・パラリンピックへ出場できる選手の輩出を目指し、各競技団体から強化指定等を受けた選手等、国内上位に位置する選手の育成・強化のための活動を支援します。

スポーツで人づくり・夢づくり事業 スポーツ推進課

トップアスリートや著名な指導者を招聘し、これまで培った経験や技術、そして何よりも、夢に向かって努力することの大切さや、様々な人との関わりの中で、人として成長した経験談などを多くの市民に伝える機会を提供し、地域スポーツの推進につなげます。

(iii)スポーツ・カルチャーツーリズム 3)事業による地域活性化

スポーツ・カルチャーツーリズム事業により、合宿や大規模な大会等を誘致し、当市の経済の活性化並びに、青少年スポーツの推進及び市民のスポーツ意識の向上を図ります。

スポーツ・カルチャーツーリズム推進事業実行委員会の運営 スポーツ推進課

「スポーツ・カルチャーツーリズム」を推進するため、関係団体等で構成するスポーツ・カルチャーツーリズム推進事業実行委員会を運営し、各種事業を実施します。

スポーツ・カルチャーツーリズムによる誘致活動 スポーツ推進課

市長や専門官によるセールス活動等により、首都圏等からスポーツ・カルチャー分野の大会、合宿又は学会等を誘致します。

スポーツで人づくり・夢づくり事業 スポーツ推進課

(再掲) トップアスリートや著名な指導者を招聘し、これまで培った経験や技術、そして何よりも、夢に向かって努力することの大切さや、様々な人との関わりの中で、人として成長した経験談などを多くの市民に伝える機会を提供し、地域スポーツの推進につなげます。

新発田市スポーツ・カルチャーツーリズム応援補助金制度 スポーツ推進課

交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、市外(県外含む)の団体がスポーツやカルチャー分野の合宿等で当市を訪れ、市内の宿泊施設を利用した場合に宿泊費の一部を助成します。

(3)スポーツ活動を支える人材と団体の育成 ～ささえるスポーツ～

市内のスポーツ活動を支えている人材や団体等への支援を継続するとともに、新たな担い手の発掘・育成を行います。

<現 状>

- 関係機関や団体と連携し、障がいのある方に対するスポーツ活動機会の創出や、社会全体が障がいへの理解を深め、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指し、パラスポーツの普及・啓発に努めています。

<課 題>

- 障がいの有無に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、障がいを持っている人を支援するための「かけはし」となる人材や組織を育成する必要があります。

<主な取組>

(i)スポーツ指導者の育成

市民が生涯を通じて、安全で快適なスポーツライフを送るためには、指導者の存在が欠かせません。多くの市民が平等にスポーツに親しみ、楽しく活動できるように、正しい知識と技能を備えた人材が、そのスキルを活かせる機会の充実や、年代やレベル、目的に応じた指導や助言を行うことができる指導者の育成に努めます。

スポーツで人づくり・夢づくり事業 スポーツ推進課

(再掲) トップアスリートや著名な指導者を招聘し、これまで培った経験や技術、そして何よりも、夢に向かって努力することの大切さや、様々な人との関わりの中で、人として成長した経験談などを多くの市民に伝える機会を提供し、地域スポーツの推進につなげます。

スポーツ指導者講習会等の情報の発信 スポーツ推進課、新発田市スポーツ協会

新潟県又は県内市町村等で開催されている指導者向けの講習会・研修会の情報をスポーツ協会と連携し、指導者へ周知し、学ぶ機会を提供します。

(ii) スポーツ団体の育成

当市におけるスポーツの推進には、新発田市スポーツ協会や新発田市スポーツ少年団、新発田市スポーツ推進委員会、とらい夢などの団体が寄与しています。

年齢や障がいの有無、生活環境を問わず、気軽に参加できるスポーツ教室から各種競技大会まで、各団体が主催するスポーツイベントの充実と、団体自体の育成に対する支援を行います。

新発田市スポーツ協会への支援 スポーツ推進課、とらい夢

新発田市スポーツ協会及びその加盟団体における会員の競技力向上とともに、年代、性別、レベルに合わせた活動を行っている団体活動を支援します。

新発田市スポーツ少年団への支援 スポーツ推進課、とらい夢

新発田市スポーツ少年団及びその単位団の活動を通じて、健全な青少年の育成を図る団体活動を支援します。

新発田市スポーツ推進委員会への支援 スポーツ推進課

新発田市スポーツ推進委員会の活動を通じて、スポーツ・レクリエーションの普及活動を支援します。

とらい夢への支援 スポーツ推進課

いつでも誰もが継続してスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、人と人との交流を通じて心身の健康と体力増進を図り、スポーツ振興と地域の活性化に資することを目的とする活動を支援します。

(iii) スポーツボランティアの育成

これまで各種大会やイベントの開催は、関連団体やスポーツ推進委員などの支えにより行われてきました。その蓄積されたノウハウを継承し、大会やイベントをより一層充実させるために、市内のスポーツ活動を支える人材の育成が必要です。市民が気軽にスポーツボランティアを始められるように、活動機会や養成講座などの情報発信を行います。また、スポーツイベント等を継続的に支えていただけるようにとらい夢と連携し、スポーツボランティアの登録制度の啓発・普及を図ります。

スポーツボランティア養成講習会の実施 スポーツ推進課、とらい夢、市スポーツ協会

ささえるスポーツとして「スポーツボランティアのやりがいや楽しみを知る」講習会等を実施し、ささえる側としてのスポーツへの携わりを通じたQOL(人生の質)の向上を図ります。

スポーツボランティアの場の提供 スポーツ推進課、とらい夢

市内で開催されるスポーツイベントにおいて、スポーツボランティアが活躍できる場を積極的に提供し、活動促進を図ります。

スポーツボランティアの情報発信 スポーツ推進課、とらい夢

市内で開催するスポーツイベントに関し、スポーツボランティアを求めるスポーツイベントの情報を市民に発信し、活動機会を周知します。

(iv) スポーツ情報の発信

市民が望んだ時に、スポーツに関わることができるように、スポーツに関わる教室やイベント、団体及びサークル、施設などの情報を容易に入手できる仕組みづくりが重要です。スポーツに

関わる情報の集約・整理を行うとともに、最新の情報をわかりやすく発信するように努めます。

スポーツ教室やスポーツイベントの情報の発信 スポーツ推進課、とらい夢、市スポーツ協会

市内で開催されるスポーツ教室やスポーツイベントの参加者募集と、「みるスポーツ」としての情報を、広報、ホームページ、SNSなどを活用するほか、スポーツ施設への掲示等により広く発信します。

スポーツ情報の発信 スポーツ推進課、とらい夢

様々な生活スタイルに応じて、気軽に行える運動やスポーツの情報の発信や相談、ふるさと選手のPRなどを積極的に行います。

健康づくりに関する知識の普及啓発や情報の発信 健康推進課、こども課

健康づくりに関する知識の普及啓発及び各種事業の利用促進を図るため、広報、ホームページ、SNSやきらきらメールなどを活用して、健康情報や各種事業内容等を発信します。

(4)スポーツ活動環境の充実 ～つながるスポーツ～

市内には屋内スポーツ施設を始め、多くのスポーツ施設が設置されています。市民が安心安全にスポーツ活動を行うことができるよう、スポーツ活動場所の整備・充実に努め、市民一人ひとりがつながるスポーツ環境を整備します。

<現 状>

- スポーツ施設の長寿命化と機能向上を図るため、長期的な整備計画を策定し、安心安全で良好なスポーツ環境の提供に努めています。

<課 題>

- 施設の長寿命化と機能向上のために、公共施設等総合管理計画に基づき、年次的に改修・整備を行う必要があります。

<主な取組>

(i)身近なスポーツの場の提供

公共施設や、公園、遊歩道などの公共空間を活用し、市民一人ひとり(個人・団体を問わず)が身近な場所でスポーツに取り組めるように支援します。また、教育委員会と連携し、学校体育施設を有効活用することで、地域単位でスポーツに取り組める環境整備を図ります。

市内スポーツ施設の効果的活用 スポーツ推進課、維持管理課、建築課、とらい夢

市内各所にあるスポーツ施設について、市民(個人利用者、団体利用者)それぞれが利用しやすいように、利用方法の周知や用具の充実を図るとともに、利用ニーズの高い競技種目の把握と施設整備に努めます。

学校等体育施設開放 スポーツ推進課、教育総務課、

学校教育課(新発田市教育支援センター車野校)、商工振興課(新発田市シェアオフィス)

市立小・中学校及び旧学校施設等(校庭、体育館等)を学校教育や施設管理運営上支障のない範囲で、市民に開放します。

(ii)安心安全なスポーツ施設の充実

市民のニーズに合わせた屋内・屋外スポーツ施設の適切な維持管理と、計画的な施設の充実に努めます。平成 24 年度に策定した大規模体育施設整備計画に基づき施設の長寿命化を進めるとともに、新発田市公共施設等総合管理計画との整合を図りながら環境整備を行います。